

2025（令和7）年度 栄養学部食文化栄養学科 指定校推薦編入学 小論文試験問題
出題の意図

「食料品アクセス困難人口」に関するデータを読み取り、その現状を整理したうえで、課題分析と具体的な解決策の提案を求めている。

食料品アクセス困難人口とは、店舗まで 500 メートル以上かつ自動車利用が困難な高齢者を指し、加齢に伴う移動制約や居住地域の条件により食料品入手が困難になる状況が可視化されている。

食料品アクセス問題は、超高齢社会・地域格差・生活習慣病リスク・食文化の持続性など、栄養学・食文化領域に密接に関連する社会課題である。これらの背景を理解しつつ、図から読み取れる現状を整理し、課題の本質を捉えることができるかを通じて、「食や健康に関する基礎的知識（大学 AP4、学科 AP4）」および「課題を分析して解を導く思考力（大学 AP5、学科 AP5）」を問う。

以上により、本小論文問題は、データ読解・課題分析・解決策提案を通して、食文化栄養学科での学びに必要な知識・意欲・思考力・表現力を総合的に確認することを意図した問題である。